

星空の

キャンドルナイト

△鶴の舞橋に並べられたキャンドルの炎が幻想的な空間を創り出していました。

鶴の舞橋を

幻想的に演出

9月15日(土)、富士見湖パークで、「星空のキャンドルナイト」が開催され、過去最多の約800人の方々が訪れました。鶴の舞橋や周辺の路上には、約1000個のキャンドルが並べられ、夜の津軽富士見湖が幻想的な空間に彩られました。

6年目を迎えたキャンドルナイトは、「鶴田町を盛り上げたい」という思いを持った町民が集まった「つるた街プロジェクト(岡詩子代表)」が企画。今年は、プロのキャンドル作家やドライフラワー作家も参加したことから、より幻想的な空間を演出していました。

会場では、県内外の作家による作品展示や記念撮影コーナー、キャンドルの販売のほか、県内外のアーティストによる生演奏も行われました。飲食店の出店もあり、キャンドルナイトを訪れた人たちは、コーヒーマンやパンを味わいながら、キャンドルに包まれた空間に響き渡る音色や歌声に聞き入っていました。

キャンドルナイトを訪れた人たちは「去年も来ましたが、やっぱり綺麗でいいですね」、「非

現実的な空間になっていて、歩いてるだけで楽しいです」とみんな笑顔で話していました。

岡代表は「来てくれたお客さんはもちろんですが、イベントに協力してくれたスタッフや作家さん、ライブパフォーマンスをしてくれたアーティストの皆さん、出店してくれた皆さん、温かい支援をいただいたサポーターさんなど、キャンドルナイトに関わってくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。人手の問題もあり、毎年、今年はキャンドルナイト開催できるかな、と話していますが、やっぱり今年も開催してよかったです!」と生き生きとした表情で話していました。



＜会場ではさまざまな作品が展示され、夜の鶴の舞橋を暖かい光で包みました